

令和7年度静岡県立東部特別支援学校伊東分校

第3回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和7年11月22日（土） 午前10時～12時

2 場 所 静岡県立東部特別支援学校伊東分校
(〒412-0055 伊東市岡 1270-1)

3 出席者

<運営協議会員> 福西 正美 氏（伊東市立さくら園園長）【コーディネーター】
日吉 由季 氏（伊東市立伊東小学校 PTA）
安藤 健雄 氏（湯の花共栄会役員）【欠席】
初鹿野 勲 氏（第4地区会長）【欠席】
佐々木 剛 氏（元特別支援学校教員）
利田 亜弥 氏（東部特別支援学校伊東分校 P T A 会長）

<学 校> 佐々木 雅則（校長）
板垣 久 （副校長）
神戸 正輝 （小学部主事）
内田 香津子（中学部主事）

4 日 程 (1) ファミリー参観日 授業参観
(2) 質疑・提言
・児童生徒の活動の様子について
・共生・共育の在り方について
・地域の人材や資源を生かした連携について など

5 議事内容

(1) ファミリー参観日 授業参観

始めに小・中学部の作品展示を参観した。次に体育館へ移動し、中学部の「親子合同体育祭」を参観した。10時30分からは小学部1・2年の「みんなでやろう おおきなかく」を参観し、11時からは、小学部5・6年生の発表や、小学部3・4年生の発表を参観した。そして最後に中学部の作業製品頒布会とすべての学年の発表を参観することができた。

(2) 感想・質疑等

＜日吉様＞参観させていただき、楽しかったし、幸せな気持ちになることができた。第1回、第2回と運営協議会に参加し、学習の様子がわかっているから、今日このファミリー参観日の児童生徒の発表している姿を見られて、子ども達の思いがよく伝わってきた。自分の順番を知って、待っている姿もかわいらしかった。発表における先生方の工夫も素晴らしかった。中学部の作業製品頒布では、作ったものが人々の役に立つもの、日常で使えるものを作っていると思った。どの子たちも、今日この日を楽しんでいるように見えた。

＜佐々木様＞懐かしい授業を見させていただいた。西小学校併置の時は狭かったが、今は広い空間を上手に活用できていると感じた。展示方法も、広く、大きく展示ができていて良かった。小学部、中学部それぞれ教員間の連携がよく、児童生徒の力を発揮した発表になっていると感じた。

＜利田様＞ファミリー参観日は、「4月から学んできたものを発表する」という感じがよいと思った。児童生徒にとって、今できることを、自信をもって、人前で発表する力を見せていただいた。やらされている感じがしないのもよかった。見ていて優しい気持ちになることができた。中学部の作業製品も、日々進化していると感じた。生徒が自信を持って取り組めるように、教師が工夫していところを感じることができた。

＜福西様＞小学部1・2年生の発表を見させていただいた。それぞれできることに取り組んでいた良かった。園でも「おおきなかぶ」に取り組んでいるので、参考になることが多かった。途中、離席してしまう児童もいたが、先生が穏やかに対応して、ちゃんと自分の席に戻ることができていて参考になった。作品展示も、作品ができるまでの経過も掲示されていてわかりやすかった。

(3) 次回は令和8年2月4日（水）午前10時から行うことを伝え、閉会とした。